

平成27年度決算概要報告

◆法人全体

項 目	①	②	③	④	⑤	対前年度増減理由
	H27決算	H27 当初予算	予算差引 (①-②)	H26決算	前年度差引 (①-④)	
経常費用合計	68,269	66,216	2,039	65,475	2,793	【附属2病院】診療経費の増(+927百万円) 【法人全体】人件費の増(+1,269百万円)
経常収益合計	67,807	65,962	1,844	65,797	2,010	【附属2病院】附属病院収益の増(1,321百万円)
経常利益	▲461	▲253	▲194	321	▲782	
臨時損失	8	-	8	10	▲1	
臨時利益	4	-	4	3	-	
当期純利益	▲465	▲253	▲211	314	▲779	
目的積立金取崩額	420	253	166	121	298	
当期総利益	▲45	-	▲45	436	▲481	

※表示替えを行っているため、セグメント合計が法人全体と一致しない場合があります

経常収支比率※	99.3%	99.6%	▲0.3%	100.5%	▲1.2%	※経常収支比率 = 経常収益 / 経常費用
---------	-------	-------	-------	--------	-------	-----------------------

<法人共通コメント> ※数値は対前年度決算比

【費用】(+2,793百万円)

- ・附属2病院において、主に医業収益の増に伴い、医薬品費や材料費などの診療経費が増加しております。(+927百万円)
- ・給与改定および人員増の影響により、人件費が増加しております。(1,269百万円)

【収益】(+2,010百万円)

- ・附属2病院において、診療単価や手術件数の増に伴い、附属病院収益が増加しております。(1,321百万円)

<セグメント人件費振替額>

※振替対象人件費は、「常勤教員の給与・賞与・諸手当」となります。

	H27振替額①	H26振替額②	前年度差引 ①-②
大学 医学部臨床系教員	91	70	20
附属病院教員	336	347	▲10
センター病院教員	▲427	▲417	▲10

<凡例>

- ・表における各数値は単位未満を切り捨てて表示しているため、見だ目の計算結果が合わないことがあります。
- ・「経常利益」「当期純利益」「当期総利益」の項目名については、数値がマイナスの場合にはそれぞれ「経常損失」「当期純損失」「当期総損失」と記載するのが本来の表記方法ですが、この表では便宜上「～利益」に表記を統一しています。



① ② ③ ④ ⑤ (単位百万円)

項 目	H27決算	H27当初予算	予算差引(①-②)	H26決算	前年度差引(①-④)	対前年度増減理由
教育経費	1,583	1,757	▲173	1,540	42	授業料等減免額(+5)、光熱水費(▲42)、保守費(+22)、再整備移転費用等(+55)
研究経費	3,184	2,621	562	3,028	155	受託研究費(+255)、光熱水費(▲44)、イノベーション整備事業交付減(454→431)に係る費用減(▲23)
人件費合計	7,396	7,257	138	6,990	405	
役員人件費	45	40	5	40	4	
教員人件費	5,189	5,144	45	4,952	237	・教員数の増等(医療ニーズ対応含む)(+188) ・退職手当の増(+45)
セグメント人件費振替額	91	93	▲2	70	20	
職員人件費	1,723	1,681	42	1,656	66	・給与改定(+12) ・常勤職員数の増等(+80) ・非常勤職員数の減(▲26)
退職給付引当金繰入	346	298	48	270	75	退職給付引当金繰入(+21)、数理計算上の差異(+55)
一般管理費等	778	729	49	693	85	大学認証評価手数料(+12)、業務委託費(+27)、租税公課等(+37)
減価償却費	875	855	19	871	4	受託研究資産取得増に伴う償却増
経常費用合計	13,818	13,222	596	13,126	692	
運営費交付金収益	7,003	7,007	▲3	6,810	193	学費対象経費交付増(医療ニーズ)(+173)、学費対象外経費交付増(+81)、退職手当(+45)、資産取得増に伴う収益減(▲78)、八景C再整備負担金相当額の減(▲81)
授業料収益等	2,995	2,880	115	2,984	10	・授業料+20(26.2億→26.4億) ・検定料▲5(80→75) ・志願者減(一般選抜2,485人→2,214人) ・入学金▲5(284→279)
外部資金合計	2,651	1,853	797	2,353	297	※収益≠獲得額 ※収益=費用
受託	1,489	1,105	384	1,172	317	獲得額+411(1,227→1,638) ※うち間接経費+61(202→263)
奨学寄附金	529	218	311	577	▲47	獲得額▲15(514→499) ※うち間接経費▲3(49→46)
補助金	632	530	102	604	27	獲得額+99(454→553)
資産見返負債戻入	666	713	▲46	715	▲49	旧基幹ネットワークシステム償却終了等による減
雑益等	640	669	▲29	609	31	・科学研究費補助金間接経費▲44(251→207) ・再整備引越等にかかる横浜市負担額+49(90→139)
経常収益合計	13,957	13,124	833	13,473	484	
経常利益	139	▲97	237	347	▲208	
臨時損失	2	-	2	3	-	建物附属設備・工具器具備品除却損
臨時利益	-	-	-	3	▲3	
当期純利益	137	▲97	234	348	▲211	
目的積立金取崩額	213	97	116	43	170	数理計算上の差異(+55)、八景C再整備負担金相当額充充分(+81)、その他施設整備費用充充分の増(+34)
当期総利益	351	-	351	392	▲41	

人件費比率 ^{※1}	53.0%	55.3%	▲2.3%	51.9%	1.1%
経常収支比率 ^{※2}	101.0%	99.3%	1.7%	102.6%	▲1.6%

※1 大学人件費比率 = 人件費 / 経常収益
第2期中期計画目標値:53%未満
※2 経常収支比率 = 経常収益 / 経常費用

項 目	① H27決算	② H27 当初予算	③ 予算差引 (①-②)	④ H26決算	⑤ 前年度差引 (①-④)	対前年度増減理由
診療経費	12,641	12,348	293	12,209	432	
うち医薬品費	5,356	4,859	496	5,026	329	診療単価の増、化学療法センター拡張による使用量の増
うち材料費	3,040	2,938	102	2,958	82	手術件数の増による消費の増
うち光熱水費	549	630	▲80	624	▲74	原油価格下落に伴う減(▲53)
教育・研究・受託研究・一般管理費等	499	485	14	433	65	臨床研究ネットワーク事業に係る費用の増(+75)
人件費	11,413	10,943	469	10,899	513	
教員人件費	1,441	1,351	90	1,373	67	臨床研究ネットワーク事業による増(+5)、年金一元化に伴う法定福利費の増(+27)
セグメント人件費振替額	336	319	17	347	▲10	
職員人件費	9,347	9,028	318	8,939	407	給与改定(+60)、臨床研究ネットワーク事業の増(+65)、退職給付対象者増による退職金増(+98)、法定福利費(+114)
退職給付引当金繰入	288	244	43	239	49	退職給付引当金繰入額(+27)、数理計算上の差異(+22)
減価償却費	1,386	1,353	32	1,156	229	病院情報システム更新(+184)
経常費用合計	25,940	25,131	809	24,699	1,241	
運営費交付金収益	2,383	2,307	76	2,289	94	費用進行基準(退職金)の増
運営交付金交付額	2,734	2,734	-	2,647	86	
資産取得分等(施設設備等)	▲350	▲427	76	▲358	7	
附属病院収益	22,309	21,711	597	21,782	526	
うち入院収益	14,875	14,625	250	14,682	193	手術件数増に伴う手術料(+124)及び投薬料(+101)の増
うち外来収益	7,226	6,882	344	6,906	319	化学療法センターの稼働による投薬料の増(+206)、MRI増設等による検査料(+65)及び画像診断料(+71)の増
資産見返負債戻入	383	375	8	355	28	
補助金等収益	177	196	▲19	64	112	市補助金の増(臨床研究NW:+97、がん研究推進:+11)
雑益等	416	405	11	498	▲81	医師賠償責任保険受取金の減(▲34)、受託研究収益の減(▲32)
経常収益合計	25,670	24,996	674	24,990	679	
経常利益	▲270	▲134	▲135	291	▲561	
臨時損失	1	-	1	7	▲6	駐車場整備に伴う旧事前精算機等の除却損
臨時利益	18	-	18	-	18	徴収不能引当金戻入額の計上
当期純利益	▲253	▲134	▲118	283	▲537	
目的積立金取崩額	134	134	-	49	84	手術支援ロボット保守相当額の充当(+23)、臨床研究NW事業(+71)、数理計算上の差異(+40)
当期総利益	▲118	-	▲118	333	▲452	

入院単価	71,473円	69,096円	2,377円	69,459円	2,014円
入院患者数(のべ数)	206,678人	210,084人	▲3,406人	209,760人	▲3,082人
病床利用率	86.3%	87.7%	▲1.4%	87.9%	▲1.6%
平均在院日数	14.6日	14.6日	-日	14.9日	▲0.3日
外来単価	15,571円	14,642円	929円	14,540円	1,031円
外来患者数/1日	1,898人	1,921人	▲23人	1,932人	▲34人
手術件数	6,135件	5,711件	424件	5,871件	264件
看護師数	718人	730人	▲12人	719人	▲1人
医薬材料費比率 ^{※1}	37.6%	35.9%	1.7%	36.7%	1.0%
人件費比率 ^{※2}	51.2%	50.4%	0.8%	50.0%	1.1%
経常収支比率 ^{※3}	99.0%	99.5%	▲0.5%	101.2%	▲2.2%

※※単価、患者数等は小数点以下を表示していないため、見た目の計算結果が合わないことがあります。

- ※1 医薬材料費比率 = (前年度繰入分+当期医薬材料費-翌月(年)繰越分) / 附属病院収益
繰入分、繰越分はそれぞれ前年度末と当年度末の医薬品および診療材料たな卸資産額
- ※2 病院人件費比率 = 人件費 / 附属病院収益
- ※3 経常収支比率 = 経常収益 / 経常費用

第2期中期計画目標値

- ・病床利用率: 90%以上
- ・平均在院日数 15日未満
- ・医薬材料費比率 35%未満
- ・人件費比率: 50%未満

項 目	① H27決算	② H27 当初予算	③ 予算差引 (①-②)	④ H26決算	⑤ 前年度差引 (①-④)	対前年度増減理由
診療経費	14,374	14,062	312	13,879	495	
うち医薬品費	5,839	5,439	400	5,497	342	医薬収益増に伴う増など、薬価交渉に伴う減(▲45)
うち材料費	3,963	3,735	228	3,711	251	手術件数の増に伴う増、医薬収益増に伴う増など
うち光熱水費	627	742	▲114	754	▲127	コージェネレーション稼働に伴う減(▲15)、原油価格下落に伴う減(▲112)
教育・研究・受託研究・一般管理費等	443	474	▲31	414	28	
人件費	12,458	12,095	362	12,106	351	
教員人件費	2,360	2,301	58	2,318	41	年金一元化に伴う法定福利費の増(+30)
セグメント人件費 振替額	▲427	▲412	▲14	▲417	▲10	
職員人件費	10,135	9,880	255	9,903	232	年金一元化に伴う法定福利費の増(+73)、診療医増に伴う増(+78)、給与改定(+62)
退職給付引当金 繰入	389	326	63	301	87	退職給付引当金繰入(+37)、数理計算上の差異(+50)
減価償却費	1,247	1,230	17	1,250	▲2	
経常費用合計	28,523	27,863	660	27,650	873	
運営費交付金収益	1,382	1,269	113	1,344	38	
運営交付金交付額	1,724	1,724	-	1,644	79	
資産取得分等 (施設設備等)	▲341	▲455	113	▲299	▲41	
附属病院収益	25,986	25,758	228	25,191	795	
うち入院収益	17,509	17,644	▲134	17,060	449	新入院患者数の増及び平均在院日数の短縮による単価の増に伴う増、手術料の増(+265)
うち外来収益	8,130	7,755	374	7,761	368	化学療法件数増に伴う注射料の増(+346)
資産見返負債戻入	340	341	-	312	28	
補助金収益等	78	97	▲19	94	▲15	臨床研修医補助金(▲15)、周産期救急医療事業運営費補助金(▲2)、がん診療連携拠点病院補助金(+2)
雑益等	390	375	14	390	-	医師賠償責任保険受取金の減(▲15)、南区電力供給の増(+10)、業務運営手数料の増(6Fレストラン分)(+4)
経常収益合計	28,179	27,841	337	27,332	846	
経常利益	▲344	▲21	▲323	▲317	▲26	
臨時損失	5	-	5	-	5	建物附属設備、工具器具備品、医療用機器除却損
臨時利益	-	-	-	-	-	
当期純利益	▲349	▲21	▲328	▲317	▲31	
目的積立金取崩額	71	21	50	27	43	数理計算上の差異(+50)、施設整備(▲7)
当期総利益	▲277	-	▲277	▲289	11	

入院単価	73,075円	72,690円	385円	70,705円	2,370円
入院患者数(のべ数)	238,178人	241,801人	▲3,623人	240,366人	▲2,188人
病床利用率	89.6%	91.0%	▲1.4%	90.7%	▲1.1%
平均在院日数	13.2日	13.6日	▲0.4日	13.7日	▲0.5日
外来単価	16,944円	15,963円	981円	15,947円	997円
外来患者数/1日	1,968人	1,989人	▲21人	1,985人	▲17人
手術件数	7,900件	7,600件	300件	7,625件	275件
看護師数	904人	928人	▲24人	910人	▲6人
医薬材料費比率※1	37.7%	35.6%	2.1%	36.6%	1.2%
人件費比率※2	47.9%	47.0%	1.0%	48.1%	▲0.1%
経常収支比率※3	98.8%	99.9%	▲1.1%	98.9%	▲0.1%

※※単価、患者数等は小数点以下を表示していないため、見た目の計算結果が合わないことがあります。

※1 医薬材料費比率 = (前年度繰入分+当期医薬材料費-翌月(年)繰越分) / 附属病院収益
繰入分、繰越分はそれぞれ前年度末と当年度末の医薬品および診療材料たな卸資産額

※2 病院人件費比率 = 人件費 / 附属病院収益

※3 経常収支比率 = 経常収益 / 経常費用

第2期中期計画目標値

- ・病床利用率: 90%以上
- ・平均在院日数 15日未満
- ・医薬材料費比率 33%未満
- ・人件費比率: 50%未満